

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	事例検討		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎501教室
担 当 教 員	土田 勝己	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

今までの学外実習で経験した事例、または起きる確立が高い事例について考え意見交換をする。さまざまな価値観を身につける。

《成績評価の方法と基準》

出席率、授業態度、動作確認で50点、学期末試験50点の総合100点満点で評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材はありません。プリント等を随時配布します。

《授業外における学習方法》

授業で学んだことを機会があれば実習先で実践してみる。

《履修に当たっての留意点》

将来働くにあたって必要なスキルです。しっかりと現場をイメージし授業に取り組んでください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	他の学生の好事例を簡単に述べるができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、他の学生がどのような事を学ぶことが出来たのかを知り、その好事例を共有する。		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分の言葉で方法を3つ示すことができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
	各コマにおける授業予定	職場での円滑なコミュニケーションの方法について。		
第3回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	お客様がどこに着眼するかを理解し、売り場で売りたい物に対する確かな位置に配置することができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
	各コマにおける授業予定	売上のあげかたについて。		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	万引きに対する被害の深刻さを痛感し、意識をどのように持つべきかを示すことができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
	各コマにおける授業予定	万引き対応について		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業で実施した販売方法を説明と動作で示すことができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
	各コマにおける授業予定	お薬に対する接客販売方法		
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容

第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	万引きに対する被害の深刻さを痛感し、とるべき行動を変えることができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
		各コマにおける授業予定	万引き対応について		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	他の実習先で起こった事例を知り、適切な行動がとれていたのかどうかを判断することができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
		各コマにおける授業予定	クレーム対応について		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	顧客満足度に対して自身の言葉で説明することができる。	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる。
		各コマにおける授業予定	顧客満足度について。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			